

## 農業共済組合連合会 検査提出資料

農業共済組合連合会名	農業共済組合連合会
事務所の所在地	〒            ー
	〇〇県
	電話 (            )            ー
	FAX (            )            ー

〇年〇月〇日 提出

徴求資料目次

No.	徴求資料名	提出方法	提出部数	提出の有無
1	定款、保険規程及び諸規則の写し			
2	連合会が独自に定めている細則等（例示：総務・経理事務取扱要領、〇〇細則、前年度〇〇助成金交付要領等）			
3	通常総会議案（前年度から検査基準日までに開催したもの）			
4	通常総議事録の写し（同 上）			
5	臨時総会議案（同 上）			
6	臨時総議事録の写し（同 上）			
7	理事会議事録の写し（同 上）			
8	監事会議事録の写し（同 上）			
9	余裕金運用管理委員会の議事録（会議録）の写し（同 上）			
10	その他主要会議、委員会等議事録（同 上）			
11	監事監査の監査書の写し（前年度から検査基準日までに監査を実施したもの）			
12	コンプライアンス・マニュアル（最新版）			
13	合計残高試算表（前年度末及び検査基準日）			
14	預金残高証明書（前年度末及び中間決算日）			
15	有価証券残高証明書（同 上）			
16	出資金（拠出金）残高証明書（同 上）			

定型様式目次

No.	提出資料名	提出方法	提出部数	提出の有無
1	機構図(検査基準日現在)			
2	役員調書(検査基準日現在)			
4	職員調書(検査基準日現在)			
5	事業関係調書			
	(1) 農作物共済関係調書(前年産及び本年産(検査基準日現在まで))			
	(2) 家畜共済関係調書(前々年度及び前年度)			
	(3) 果樹共済関係調書(前年産及び本年産(検査基準日現在まで))			
	(4) 畑作物共済関係調書(前年産及び本年産(検査基準日現在まで))			
	(5) 園芸施設共済関係調書(前々年度及び前年度)			
	(6) 任意共済関係調書(前々年度及び前年度)			
	(7) 引受状況調書(検査基準日現在)			
	(8) 共済掛金徴収状況調書(検査基準日現在)			
	(9) 損害評価会委員名簿(検査基準日現在)			
	(10) 農業経営収入保険関係調書(前々年度及び前年度)			
6	財務、業務損益関係調書(前年度末及び検査基準日現在)			
7	特別積立金取崩し状況調書(前年度末及び検査基準日現在)			
8	有価証券売買実績調書(前年度及び本年度(検査基準日現在まで))			
9	ポートフォリオ一覧表(前年度末及び検査基準日)			
10-1	貸借対照表(過去3年度分)			
10-2	損益計算書(過去3年度分)			
10-3	人件費推移(過去3年度分)			
11	前回検査の指摘事項に対する改善状況等調書			







## 様式5 目 次

番号	
	<b>(1) 農作物共済関係調書</b>
01	ア 引受け ( 年産)
02	イ 損害評価及び支払 ( 年産)
	<b>(2) 家畜共済関係調書</b>
	ア 引受け
03	(ア) 引受頭数等 ( 年度及び 年度)
04	(イ) 保険料の納入等 ( 年度)
	イ 事 故
05	(ア) 事故頭数等 ( 年度及び 年度)
06	(イ) 保険金請求書の提出 ( 年度)
07	ウ 診 療 ( 連 合 会 : 年度)
08	エ 嘱託獣医師又は指定獣医師との契約状況 ( 年度及び 年度)
09	オ 年度廃用事故現地立会状況
	<b>(3) 果樹共済関係調書</b>
10	ア 引受け 年度引受 ( 年産)
11	イ 損害評価及び支払 年産 ( 年度引受)
	<b>(4) 畑作物共済関係調書</b>
12	ア 引受け ( 年産)
13	イ 損害評価及び支払 ( 年産)
	<b>(5) 園芸施設共済関係調書</b>
	ア 引 受 け
16	(ア) 引受実績等 ( 年度及び 年度)
17	(イ) 保険料の納入等 ( 年度)
18	イ 事 故
	<b>(6) 任意共済関係調書</b>
19	ア 引 受 け ( 年度)
20	イ 事 故 ( 年度)
21	ウ 建物共済の損害発生後保険金等支払経過件数 ( 年度)
21	エ 延滞利息の支払状況 ( 年度)
22	オ 建物共済の収支 ( 年度及び 年度)
23	カ 農機具共済の損害発生後保険金等支払経過件数 ( 年度)
23	キ 農機具共済の収支 ( 年度及び 年度)
	<b>(7) 引受状況調書</b>
24	ア 農作物共済
	イ 果樹共済
	ウ 畑作物共済
	<b>(8) 共済掛金徴収状況調書</b>
	ア 農作物共済
25	イ 果樹共済(収穫共済)
	ウ 畑作物共済
28	<b>(9) 連合会損害評価会委員名簿</b>

(1) 農作物共済関係調書

連合会名: 農業共済組合連合会  
 検査基準日: 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

ア 引受け (平成 年産)

組合等名	作付面積 ha	引受面積 ha	引受率 %	組合等の共済掛金 払込期限 細目書の提出 期日を( )書き のこと 月日 (月日)	引 受 通 知 書		事業規程上 の保険料 払込期日 月日	保 険 料 の 納 入 告 知		保 険 料 完 納 月 日 月日	共済目的				共済事故等による種別		徴収すべき 保 険 料 (当 該 年 度 分) 円	未 収 保 険 料 (過 年 度 分) 円	
					提出年月日 連合会が定めた 提出期日を( )書 きのこと 月日 (月日)	引 受 変 更 通 知 提出月日 月日 変更の理由		発行月日 月日	払込期限 月日		納入告知 書の払込 期限時 %	保 険 料 等 の 徴 収 率		第1回(月日) 保 険 料 %	第2回(月日) 保 険 料 %	連 合 会 交 付 金 申 請 時 保 険 料 %			共 済 掛 金 %
												第1回(月日) 保 険 料 %	第2回(月日) 保 険 料 %						
計又は平均	0	0																	

- (注) 1 この調書は、前年産引受について作成して下さい。なお、本年産引受については、引受が確定次第作成して下さい。  
 2 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。  
 3 共済目的ごとに複数の共済事故等による種別がある場合は、当該共済目的の合計も併せて作成して下さい。  
 4 作付面積は、「作物統計」等の面積を記入して下さい。また、引受実績がない組合等についても記入して下さい。なお、連合会が独自に求めた面積があれば、それを( )書きで記入して下さい。  
 5 保険料に係る欄において、2回以上徴収した場合は、1回目を上段に、2回目(最終回)を下段に二段書きで記入して下さい。  
 6 組合等内の区域を分けて、細目書の提出期日、共済掛金の払込期限を定めている場合は、当該区分ごとに1行として記入して下さい。  
 7 引受通知書の提出年月日とは、連合会が受理した年月日を記入して下さい。



## (2)家畜共済関係調書

連合会名; 農業共済組合連合会  
 検査基準日; 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

ア 引受け  
 (ア)引受頭数等( 年度及び 年度)

組合等名	年度	有資格頭数 C 頭	引受頭数 D 頭	引受率 D/C %	総共済価額 E 千円	総共済金額 F 千円	共済の種類		畜種 付保 割合 %	保険関係 の種類	組合等の 責任保留割合 %
							1頭当 共済価額 円	たり 共済金額 円			
	実績 A										
	実績 B										
	B/A(%)										
	実績 A										
	実績 B										
	B/A(%)										
	実績 A										
	実績 B										
	B/A(%)										
	実績 A										
	実績 B										
	B/A(%)										
合計	実績 A										
	計画										
	実績 B										
	計画 B/A(%)										

- (注) 1 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。
- 2 共済の種類欄には、死亡廃用共済、疾病傷害共済、旧制度の別を記入して下さい。
- 3 畜種欄には、死亡廃用共済にあつては、搾乳牛、育成乳牛、繁殖用雌牛、育成・肥育牛、繁殖用雌馬、育成・肥育馬、種豚及び肉豚の別を、疾病傷害共済にあつては、乳用牛、肉用牛、一般馬及び種豚の別を、旧制度にあつては、乳牛の雌等(除く胎児)、肉用牛等(除く胎児)、馬、種豚及び肉豚の別を記入して下さい。
- 4 引受頭数、総共済価額及び総共済金額は、一般期間加入のものを記入して下さい。
- 5 実績 Aには前々年度、実績Bには前年度のものを記入して下さい。

連合会名; 農業共済組合連合会  
 検査基準日; 年 月 日現在  
 作成部署名;  
 作成責任者名;

(イ) 保険料の納入等( 年度)

引受月 一括納入又は分納 納入期限 組合等名	4 月				5 月			
	一括納入又は 分納第1回 月 日	分納第2回 月 日	分納第3回 月 日	分納第4回 月 日	一括納入又は 分納第1回 月 日	分納第2回 月 日	分納第3回 月 日	分納第4回 月 日
	月 日				月 日			
	月 日				月 日			
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	月 日				月 日			
	月 日				月 日			
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	月 日				月 日			
	月 日				月 日			
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	月 日				月 日			
	月 日				月 日			
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	月 日				月 日			
	月 日				月 日			
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	月 日				月 日			
	月 日				月 日			
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	月 日				月 日			
	月 日				月 日			
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

3 月			
一括納入又は 分納第1回 月 日	分納第2回 月 日	分納第3回 月 日	分納第4回 月 日
月 日			
月 日			
月 日	月 日	月 日	月 日
月 日			
月 日			
月 日	月 日	月 日	月 日
月 日			
月 日			
月 日	月 日	月 日	月 日
月 日			
月 日			
月 日	月 日	月 日	月 日
月 日			
月 日			
月 日	月 日	月 日	月 日
月 日			
月 日			
月 日	月 日	月 日	月 日

(注) 1 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。  
 2 各月の上段に組合等の引受通知書の提出月日を、下段に保険料の納入月日を記入して下さい。  
 なお、組合等ごとに納入期限を設定している場合は三段書きとし、中段にその期限を記入して下さい。

イ 事 故

(ア) 事故頭数等( 年度及び 年度)

連合会名; 農業共済組合連合会  
 検査基準日; 年 月 日現在  
 作成部署名;  
 作成責任者名;

組合等名	年 度	引受頭数 C 頭	死 亡 廃 用 事 故 頭 数					共 済 金 G	1頭当たり 共 済 金 G/F 円	共済の種類			
			死 亡 D 頭	廃 用 E 頭	合 計 F = D + E 頭	事 故 率 F/C %	病			傷			
							件 数 H 件			事 故 率 H/C %	共 済 金 I 円	1 件 当 たり 共 済 金 I/H 円	
	実績 A				0		0						0
	実績 B				0		0						0
	B/A(%)												
	実績 A				0		0						0
	実績 B				0		0						0
	B/A(%)												
	実績 A				0		0						0
	実績 B				0		0						0
	B/A(%)												
合 計	実績 A				0		0						0
	実績 B				0		0						0
	B/A(%)												

- (注) 1 共済の種類欄には、死亡廃用共済、疾病傷害共済、旧制度の別を記入してください。  
 2 畜種欄には、乳牛の雌等(除く胎児)、肉用牛等(除く胎児)、馬、種豚及び肉豚の別を記入して下さい。  
 3 畜種欄には、死亡廃用共済にあつては、搾乳牛、育成乳牛、繁殖用雌牛、育成・肥育牛、繁殖用雌馬、育成・肥育馬、種豚及び肉豚の別を、疾病傷害共済にあつては、乳用牛、肉用牛、一般馬及び種豚の別を、旧制度にあつては、乳牛の雌等(除く胎児)、肉用牛等(除く胎児)、馬、種豚及び肉豚の別を記入してください。  
 4 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。  
 5 実績 Aには前々年度、実績Bには前年度のものを記して下さい。

(イ) 保険金請求書の提出(年度)

連合会名; 農業共済組合連合会  
検査基準日; 年 月 日現在  
作成部署名:  
作成責任者名:

死産事故

事故の月 組合等名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
件数	7月以降 件	8月以降 件	9月以降 件	10月以降 件	11月以降 件	12月以降 件	1月以降 件	2月以降 件	3月以降 件	4月以降 件	5月以降 件	6月以降 件

(注) 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。

病傷事故

事故の月 組合等名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
件数	7月以降 件	8月以降 件	9月以降 件	10月以降 件	11月以降 件	12月以降 件	1月以降 件	2月以降 件	3月以降 件	4月以降 件	5月以降 件	6月以降 件

(注) 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。

ウ 診 療 (連 合 会 : 年 度)

連 合 会 名 ; 農 業 共 済 組 合 連 合 会  
 検 査 基 準 日 ; 年 月 日 現 在  
 作 成 部 署 名 :  
 作 成 責 任 者 名 :

診療所名 (人)		管内有資格頭数 (肉用牛換算) A 頭	引受頭数 B 頭	引受率 B/A %	事故総件数 C 件	診 療 所 診 療 分				1人当たり診療件数	
						事故 D 件	事故外 E 件	計 F 件	D/C %	年 間 G 件	一 日 平 均 H 件
(人)	乳用牛							0			
	肉用牛							0			
	一般馬							0			
	計	0	0		0	0	0	0		0	
(人)	種 豚							0			
	乳用牛							0			
	肉用牛							0			
	一般馬							0			
(人)	計	0	0		0	0	0	0		0	
	種 豚							0			
	乳用牛							0			
	肉用牛							0			
(人)	一般馬							0			
	計	0	0		0	0	0	0		0	
	種 豚							0			
	乳用牛							0			
(人)	肉用牛							0			
	一般馬							0			
	計	0	0		0	0	0	0		0	
	種 豚							0			
合 計 (平均 人)	乳用牛							0			
	肉用牛							0			
	一般馬							0			
	計	0	0		0	0	0	0		0	
種 豚							0				

(注) 1 (人)には、診療担当獣医師数(診療に従事しない獣医師は含まない。)を記入して下さい。

2 事故総件数には嘱託、指定等獣医師の病傷事故分も含む総件数を記入して下さい。

3 一人当たり診療件数は、次の算式により算出し記入して下さい。

$$\text{年 間} = F / \text{獣医師数}$$

$$\text{1日平均} = G / 268 \text{日}$$



才 年度廃用事故現地立会状況

連合会名; 農業共済組合連合会  
 検査基準日; 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

(単位:頭)

廃用号数		1	2	3	4	5	6	7	計
種別	種別								
廃用頭数(畜種計)									0
畜種	搾乳牛								0
	育成乳牛								0
	繁殖用雌牛								0
	育成・肥育牛								0
	繁殖用雌馬								0
	育成・肥育馬								0
	種豚								0
現地立会頭数									0
うちテレビ電話等情報通信機器の画像による確認									0
うち組合診療所長									0
現地立会頭数/廃用頭数(%)									

(注)畜種欄は、旧制度にあつては、乳牛の雌等、肉用牛等、馬及び種豚を記入してください。

(3) 果樹共済関係調書

ア 引受け 平成 年度引受(平成 年産)

連合会名: 農業共済組合連合会  
 検査基準日: 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

組合等名	結果樹面積 ha	引受面積 ha	引受率 %	組合等の共済掛金 払込期限 分・延納分は( )書きのこと 月日(月日)	引受通知書			事業規程上の保険料 払込期限 月日	果樹共済の種類		保険料 完納 月日	共済目的			引受方式	徴収すべき 保険料 (当該年度分) 円	未収保険料 (過年度分) 円		
					提出月日		引受変更通知 提出月日 変更の理由		発行月日			払込期限	告知書の 払込期限時					連合会交付金申請時 (月日)	
					提出月日 月日(月日)	提出月日 月日(月日)			発行月日 月日(月日)	払込期限 月日(月日)			告知書の 払込期限時 %	連合会交付金申請時 (月日)				連合会交付金申請時 %	共済掛金 %
計又は平均																			

- (注) 1 この調書は、前年度引受について作成して下さい。なお、本年度引受については、引受が確定次第作成して下さい。  
 2 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。  
 3 この調書は、収穫共済及び樹体共済並びに共済目的ごと、引受方式ごとに(引受方式が複数ある場合は共済目的の合計を)それぞれ別葉に作成して下さい。  
 4 結果樹面積は、「果樹生産出荷統計」等による面積を記入して下さい。また、引受実績のない組合等についても記入して下さい。なお、連合会が独自に求めた面積があれば、それを( )書きで記入して下さい。  
 5 保険料の徴収及び連合会交付金の申請を2回以上した場合は、1回目を上段に、2回目(最終回)を下段に二段書きで記入して下さい。  
 6 組合等内の区域を分けて、引受通知書の提出期日、共済掛金の払込期限を定めている場合は、当該区分ごとに1行として記入して下さい。  
 7 引受通知書の提出年月日とは、連合会が受理した年月日を記入して下さい。







(4) 畑作物(蚕繭)共済関係調書

ア 引受け ( 年産)

連合会名: 農業共済組合連合会  
 検査基準日: 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成者責任者名:

組合等名	小蚕期	掃立箱数 (下段に養蚕農家戸数を記入) 箱(戸)	引受箱数 (下段に引受戸数を記入) 箱(戸)	箱数引受率 (下段に戸数引受率を記入) %	組合等の共済掛金 払込期限 月 日	引受通知書		事業規程上の保険料 払込期限 月 日	保険料の納入告知		保険料納月日 月 日	共済目的の種類			未収保険料 (過年度分) 円	
						提出月日 連合会が定めた提出月日を( )書きのこと 月 日(月 日)	引受変更通知 提出月日 変更の理由 月 日		発行月日	払込期限 月 日		保険料等の徴収率				
												納入告知書の払込期限時 %	連合会交付金申請時 (月 日) 保険料 %	共済掛金 %		徴収すべき保険料 (当該年度分) 円
春蚕繭																
初秋蚕繭																
晩秋蚕繭																
計又は平均																

- (注) 1 この調書は、前年産引受について作成して下さい。なお、本年産引受については、引受が確定次第作成して下さい。  
 2 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。  
 3 保険料の徴収及び連合会交付金の申請を2回以上した場合は、1回目を上段に、2回目(最終回)を下段に二段書きで記入して下さい。  
 4 小蚕期を実施している組合等は、小蚕期ごとに区分して記入して下さい。

イ 損害評価及び支払 ( 年産)

連合会名: 農業共済組合連合会  
 検査基準日: 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成者責任者名:

組合等名	小蚕期	組合等の損害調査 (収繭期調査)		連合会の損害調査				組合等 当初評価高 (除く買桑) (A) Kg	連合会 認定量 (除く買桑) (B) Kg	歩留り (B)/(A) %	共済目的の種類等			保 険 金		共 済 金 支払月日 月 日	
		調 査 期 間 月 日 ~ 月 日	調 査 数 戸	桑葉被害に係る 収 繭 期 調 査		調 査 期 間 月 日 ~ 月 日	調 査 数 戸				戸 数 %	箱 数 %	金 額 %	支 払 月 日 月 日	支 払 額 円		
				調 査 期 間 月 日 ~ 月 日	調 査 数 戸												
春蚕繭		~		~	~												
		~		~	~												
		~		~	~												
初秋蚕繭		~		~	~												
		~		~	~												
		~		~	~												
晩秋蚕繭		~		~	~												
		~		~	~												
		~		~	~												
	計又は平均																

- (注) 1 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。  
 2 組合等が抜取調査を行った場合は、組合等の損害調査欄にそれぞれ2段書きすること。  
 3 収繭期調査において収繭期が異なる場合には、調査期間を分けて記入して下さい。  
 4 蚕児被害に係る調査を実施した場合は、桑葉被害に係る調査期間欄に( )を付して記入して下さい。  
 5 この調書は、前年産について作成して下さい。なお、本年産については、共済金を支払った時点で当該蚕期について作成して下さい。

## (5) 園芸施設共済関係調書

連合会名; 農業共済組合連合会  
 検査基準日; 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

ア 引受け

(7) 引受実績等( 年度及び 年度)

〒	年度	設置状況			引受実績			引受率		
		戸数 戸	棟数 棟	面積 m <sup>2</sup>	戸数 戸	棟数 棟	面積 m <sup>2</sup>	戸数 %	棟数 %	面積 %
	実績 A									
	実績 B									
	B/A (%)									
	実績 A									
	実績 B									
	B/A (%)									
	実績 A									
	実績 B									
	B/A (%)									
	実績 A									
	実績 B									
	B/A (%)									
	実績 A									
	実績 B									
	B/A (%)									
合計	実績 A									
	計画									
	実績 B									
	計画									
	B/A (%)									

(注)1 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。

2 設置状況は、最近時点における都道府県の調査に基づいて記入して下さい。(設置状況合計の(計画)欄は連合会の引受計画を記入して下さい。)

3 実績 Aには前々年度、実績Bには前年度のものを記入して下さい。





# (6) 任意共済関係調書

連合会名; 農業共済組合連合会  
 検査基準日; 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

ア 引受け( 年度)  
 建物(農機具)共済保険料(共済掛金)の納入等

引受月 納入期限 組合等名	4月 月日	5月 月日	6月 月日	7月 月日	8月 月日	9月 月日	10月 月日	11月 月日	12月 月日	1月 月日	2月 月日	3月 月日	委託事務に 関する決算書 受理月日	備考
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	年月日							
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	年月日							
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	年月日							
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	年月日							
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	年月日							
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	年月日							
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	年月日							
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	年月日							
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	年月日							
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	年月日							

(注) 1 組合等名欄において、組合営以外のものについては、○印を付して下さい。  
 2 各月の上段に組合等の引受通知書の提出月日を、下段に保険料の納入月日を記入して下さい。



連合会名; 農業共済組合連合会  
 検査基準日; 年 月 日現在  
 作成部署名;  
 作成責任者名;

ウ 建物共済の損害発生後保険金等支払経過件数( 年度)

	30日以内	30日超 60日以内	60日超 90日以内	90日超 120日以内	120日超 180日以内	180日超 1年以内	1年超	(最大月数 を記入)	合計件数
① 損害発生から保険金等支払									0
② 損害発生から損害発生通知									0
③ 損害発生通知から共済金請求書類の提出									0
④ 書類が到達した日の翌日から共済金支払									0
特別な照会又は調査	期日内件数								
A (180日以内)	0								0
B (180日以内)	0								0
C (90日以内)	0								0
D (120日以内)	0								0
E (60日以内)	0								0
A～Eの計	0								0

- ① 損害発生から保険金等支払  
 ② 損害発生から組合（連合会）への損害発生通知（遅滞なく）〔約款例：火災第33条第1項、総合第31条第1項〕  
 ③ 損害発生通知から組合（連合会）への共済金の請求に必要な書類の提出（30日以内）〔約款例：火災第33条第3項、総合第31条第3項〕  
 ④ 組合（連合会）が要求した共済金の請求に必要な書類が組合（連合会）に到達した日の翌日から30日以内に共済金を支払〔約款例：火災第38条第1項、総合第36条第1項〕  
 A～E 特別な照会又は調査が必要な場合〔約款例：火災第38条第2項、総合第36条第2項〕  
 A 弁護士法（昭和24年法律第205号）その他法令に基づく照会（180日以内）  
 B 警察、検察、消防その他の公の機関による調査・捜査の結果の照会（180日以内）  
 C 医療機関、検査機関その他専門機関による診断、鑑定等の結果の照会（90日以内）  
 D 後遺障害の内容及びその程度を確認するための医療機関による診断、後遺障害の認定に係る専門機関による審査等の結果の照会（120日以内）  
 E 災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された被災地域における確認のための調査（60日以内）

エ 延滞利息の支払状況( 年度)

延滞日数	件数	延滞利息 (円)
1日～7日		
8日～14日		
15日～30日		
31日以上		
(最大日数を記入)		
合計件数(遅延利息)	0	0





(7)引受状況調書(収穫共済関係:年産別引受)

ア 農作物共済(本年産は 年産)

連合会名: 農業共済組合連合会  
 検査基準日: 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

組合等名	共済目的の種類 年産	水 稲			陸 稲			麦		
		作付面積 D	引受面積 E	引受率 E / D %	作付面積 D	引受面積 E	引受率 E / D %	作付面積 D	引受面積 E	引受率 E / D %
		a	a	%	a	a	%	a	a	%
	実績A									
	実績B									
	実績C									
	B/A(%)									
	C/B(%)									
	実績A									
	実績B									
	実績C									
	B/A(%)									
	C/B(%)									
	実績A									
	実績B									
	実績C									
	B/A(%)									
	C/B(%)									
合 計	実績A									
	計画(B分)									
	実績B									
	計画(C分)									
	実績C									
	B/A(%)									
	C/B(%)									

- (注) 1 イ果樹共済(収穫共済)及びウ畑作物共済については、ア農作物共済に準じて作成して下さい。  
 2 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。  
 3 検査基準日現在において、本年産の引受実績が確定しているものについては、「本年産実績C」及び「C/B」欄を作成して下さい。  
 4 実績 Aには前々年度、実績Bには前年度、実績Cは今年度のものを記入して下さい。

(8) 共済掛金徴収状況調書(収穫共済関係)

ア 農作物共済

連合会名: 農業共済組合連合会  
 検査基準日: 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

(ア)水稲(前年産及び本年産)

組合等名	徴収すべき掛金 (調定額)	組合等の 払込期限	○年○月末		○月 末									
			徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率
	円	月 日	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
合 計														

(イ)麦(前年産及び本年産)

組合等名	徴収すべき掛金 (調定額)	組合等の 払込期限	○年○月末		○月 末									
			徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率
	円	月 日	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
合 計														

(ウ)陸稲(前年産及び本年産)

組合等名	徴収すべき掛金 (調定額)	組合等の 払込期限	○年○月末		○月 末									
			徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率
	円	月 日	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
合 計														

(注) ①組合等の残高試算表等から作成して下さい。 ②各欄は累計額、累計率を記入して下さい。 ③徴収のない月(増減のない月)は省略して下さい。  
 ④「徴収すべき掛金(調定額)」の合計の全額(100%)を徴収した以降は記入しないで下さい。「徴収すべき掛金(調定額)」の合計に変更のあった場合は除きます。  
 ⑤徴収額が徴収すべき掛金(調定額)と同額となるまでを作成して下さい。 ⑥調定が2回(水稲の2回等)ある場合は、初回の下に( )書きとして下さい。

(注) 1 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。  
 2 管内における「生育ステージ」を添付して下さい。(参考例の項目を基に作成)…(参考例としてファイルを添付いたしました。)

イ 果樹共済(収穫共済)(前年産(前年度引受及び本年度引受)〔共済目的ごとに作成〕

組合等名	徴収すべき掛金 (調定額)	組合等の 払込期限	○年○月末		○月 末									
			徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率
	円	月 日	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
合 計														

(注) ①組合等の残高試算表等から作成して下さい。②各欄は累計額、累計率を記入して下さい。③徴収のない月(増減のない月)は省略して下さい。  
 ④「徴収すべき掛金(調定額)」の合計の全額(100%)を徴収した以降は記入しないで下さい(「徴収すべき掛金(調定額)」の合計に変更のあった場合は除きます。)  
 ⑤徴収額が徴収すべき掛金(調定額)と同額となるまでを作成して下さい。⑥調定が2回以上ある場合は、初回の下に( )書きとして下さい。

(注) 1 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。  
 2 管内における「生育ステージ」を添付して下さい。(農作物共済を参考に作成して下さい。)

ウ 畑作物共済(前年産及び本年産)〔共済目的ごとに作成〕

組合等名	徴収すべき掛金 (調定額)	組合等の 払込期限	○年○月末		○月 末									
			徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率	徴収額	徴収率
	円	月 日	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
合 計														

(注) ①組合等の残高試算表等から作成して下さい。②各欄は累計額、累計率を記入して下さい。③徴収のない月(増減のない月)は省略して下さい。  
 ④「徴収すべき掛金(調定額)」の合計の全額(100%)を徴収した以降は記入しないで下さい(「徴収すべき掛金(調定額)」の合計に変更のあった場合は除きます。)  
 ⑤徴収額が徴収すべき掛金(調定額)と同額となるまでを作成して下さい。⑥調定が2回以上ある場合は、初回の下に( )書きとして下さい。

(注) 1 組合等名欄において、市町村営のものについては、○印を付して下さい。  
 2 管内における「生育ステージ」を添付して下さい。(農作物共済を参考に作成して下さい。)

水 稻 ・ 麦 の 生 育 ス テ ー ジ

〇〇農業共済組合連合会

		3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
水 稻	極早生		播種 ↓ 育苗	田植 ↓ 活着期	分けつ期	幼穂形成期 ↓ 幼穂期	出穂期 ↓ 登熟期	収穫期 ↓	
	早生			播種 ↓ 育苗	田植 ↓ 活着期	分けつ期	幼穂形成期 ↓ 幼穂期	出穂期 ↓ 登熟期	収穫期 ↓
事務手続き		細目書の配布 1月～2月末頃		細目書の提出期限 4月30日		掛金の納期限 7月31日		損害評価 9月上旬～10月中旬日頃	
共済責任期間		○—————→							

		11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
麦			播 種				出 穂 期		収 穫 期
	二条・六条	10月末～11月上旬					4月中旬	5月下旬	
	小麦	10月末～11月上旬					4月下旬	6月上旬	
事務手続き		細目書の配布 10月～11月上旬日		細目書の提出期限 11月10日		掛金の納期限 1月31日		損害評価 5月下旬～6月中旬頃	
共済責任期間		○—————→							

(注)〇〇県産米改良協会(ひとめぼれ及びコシヒカリの栽培歴)より作成。

### (9) 連合会損害評価会委員名簿

連合会名; 農業共済組合連合会  
 検査基準日; 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

所 属	役 職	氏 名	役 職 名 ( 兼 職 )	任 期	年報酬額(円)	年 齢	備 考
損害評価会会長	会長		〇〇県〇〇	～			
農作物共済部会	部会長			～			
				～			
				～			
家畜共済部会	部会長			～			
				～			
				～			
果樹共済部会	部会長			～			
				～			
				～			
畑作物共済部会	部会長			～			
				～			
				～			
園芸施設共済部会	部会長			～			
				～			
				～			
任意共済部会	部会長			～			
				～			
				～			
				～			

(注) 上記様式と同等の既作成のものがあれば、それを提出して下さい。



計又は平均									

(注)1 この調書は、前々年、前年及び本年の引受けについて都道府県ごとに集計して作成して下さい。

2 加入目標件数欄は、顧客リストの加入目標を記入して下さい。

3 未収保険料欄、未収積立金欄及び未収事務費欄は、検査基準日現在の未収金を記入して下さい。



計又は平均									

(注) 1 この調書は、前々年度、前年度及び本年度の引受けについて都道府県ごとに集計して作成して下さい。

2 加入目標件数欄は、顧客リストの加入目標を記入して下さい。

3 未収保険料欄、未収積立金欄及び未収事務費欄は、検査基準日現在の未収金を記入して下さい。





様式6

## 財務業務損益関係調書

((1)~(7))については、検査基準日現在

連合会名: 農業共済組合連合会  
 検査基準日: 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

(1) 普通預金、当座預金、郵便貯金(郵便振替貯金を含む。)、外貨預金、金銭信託

NO	勘定名	預金の種類	金融機関名	支店名	口座番号	預金残高(円)
計						

(注) 1. 検査基準日現在、預金通帳残高ゼロ円も含めて記入して下さい。  
 2. 勘定名欄は、「農業経営収入保険勘定」、「業務勘定」、「任意共済勘定」、「農機具更新共済勘定」を記入して下さい。

(2) 通知預金、定期預金

単位:円

NO	勘定名	預金の種類	金融機関名	支店名	預入年月日	証書番号	預入金額	預入期間	利率(%)	備考
計										

(注) 1. 借入金の担保に付している場合は、その旨を備考欄に記入して下さい。  
 2. 勘定名欄は、「農業経営収入保険勘定」、「業務勘定」、「任意共済勘定」、「農機具更新共済勘定」を記入して下さい。

(3) 有価証券

単位:円

NO	勘定名	登録機関名等	銘柄	取得年月日	償還年月日	簿価	額面	取得価額	利率(%)	備考
計		計								

(注) 1 勘定名欄は、「農業経営収入保険勘定」、「業務勘定」、「任意共済勘定」、「農機具更新共済勘定」を記入して下さい。  
 2 銘柄別に区分し、小計を記入して下さい。  
 3 貸付信託、中期国債ファンド、公社債投資信託、債券現先運用はその旨を銘柄欄に記入して下さい。  
 4 有価証券管理システム等による場合は、この様式にかかわらずアウトプットされたものとして下さい。

(4) 出資金、拠出金

単位:円

出資(拠出)先	口数	出資(拠出)額	外部出資見合純財産	備考
(独) 農林漁業信用基金				連合会 円、組合等 円
計				

(5) 組合等拠出金

単位:円

組合等名	金額
計	

(6) 有形固定資産

連合会名； 農業共済組合連合会  
 検査基準日； 年 月 日現在  
 作成部署名；  
 作成責任者名；

ア 土地

単位 面積：㎡、金額：円

勘定名	地名地番	地目	面積	取得年月日	取得金額	登記年月日	有形固定資産見 合純財産	備考
計								

(注)1. 勘定名欄は、「業務勘定」、「家畜診療所勘定」ごとに、別葉として記入して下さい。  
 2. 「備考」欄には、使用目的(場所)を具体的に記入して下さい。

イ 建物、構築物

単位 面積：㎡、金額：円

勘定名	名称	所在地	構造	延べ面積	取得年月日	取得金額	登記年月日	有形固定資産見 合純財産	減価償却累計 額	損害保険契約 金額	左の契約年 月 日	備考
計												

(注)1. 勘定名欄は、「業務勘定」、「家畜診療所勘定」ごとに、別葉として記入して下さい。  
 2. 建物、構築物別に区分し、小計を記入して下さい。

ウ 車両運搬具、機械器具、器具備品

単位 数量：台、金額：円

勘定名	名称	使用場所	取得年月日	数量	取得金額	有形固定資産見 合純財産	減価償却累計額	備考
計								

(注)1. 勘定名欄は、「業務勘定」、「家畜診療所勘定」ごとに、別葉として記入して下さい。  
 2. 車両運搬具、機械器具、器具備品別に区分し、小計を記入して下さい。

(7) 無形固定資産

単位 金額：円

勘定名	種類	取得金額	支払年月日	支払先	無形固定資産見 合純財産	備考
計						

連合会名: 農業共済組合連合会  
 検査基準日: 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

(8) 退職給付引当金

ア 役員退任慰労金必要額(前年度末)

単位 年、円

役員名	任期	勤続年数	報酬年額	必要額	退任慰労金引当額	備考
	~					
小計				0		
				引当率		

イ 職員退職給付引当金必要額(前年度末)

単位 年、月、円

職員名	勤続年数	本俸月額	支給月数	必要額	退職給付引当金引当額	備考
				100		
小計				100		
				引当率		

ウ 退職給与引当金必要額(ア+イ)と引当率

必要額	退職給付引当金引当額	引当率
100	0	

(9) 建設引当金、修繕引当金、更新引当金(前年度末)

ア 建設引当金

単位:円

件名	建設予定年度	建設予定額	引当済額	今後の引当計画	備考
計					

イ 修繕引当金

単位:円

件名	取得年月日	取得価額	修繕予定年度	修繕予定額	引当済額	今後の引当計画	備考
計							

ウ 更新引当金

単位:円

件名	取得年月日	取得価額	更新予定年度	更新予定額	引当済額	今後の引当計画	備考
計							

(注) 今後の引当計画には、年次別の引当予定額を記入して下さい。

(10) 基金、準備金、引当金(前記9以外)(前年度末)

(注) 1 連合会が独自に設置している引当金等については、前記(9)の様式に準じて、年次別引当額、現在高、今後の引当計画等を記入して下さい。  
 2 業務引当金を設けている場合には、必要額の算出基礎を記入して下さい。

様式7

特別積立金取崩し状況調書

連合会名; 農業共済組合連合会  
 検査基準日; 年 月 日現在  
 作成部署名:  
 作成責任者名:

区 分	共 済 事 業 の 種 類 等	事 業 の 名 称	使 用 目 的	要領等 の有無	金 額 (千円)		理 事 会 の 議 決 年 月 日	総 会 の 議 決 年 月 日	取 り 崩 し 年 月 日
					予 算 額	決 算 額			
計									

- (注) 1 本調書には、前年度において、省令第32条第1項第3号及び附則第6条第3項の規定に基づいて取り崩したものを記入して下さい。  
 2 「区分」欄には、勘定名を記入して下さい。  
 3 「共済事業の種類等」欄には、「農作物」、「家畜」・・・若しくは「業務」の別を記入して下さい。  
 4 「事業の名称」欄には、奨励金等の名称を記入して下さい。  
 5 「使用目的」欄には、「組合等が組合員等に配布する水稻の農薬購入に要する経費の1/2を補助するため」等と、具体的に記入して下さい。





様式10-1 ◎貸借対照表

連合会名： 農業共済組合連合会  
 検査基準日： 年 月 日現在  
 作成部署名：  
 作成責任者名：

勘定名	〇〇勘定				備考
	年度	年度	年度	対前年比	
資産合計	0	0	0	-	
1. 流動資産	0	0	0	-	
(1) 現金預金				-	
(2) 金銭信託				-	
(3) 農林漁業信用基金寄託金				-	
(4) 有価証券				-	
(5) 未収債権				-	
貸倒権引当金(差引)				-	
(6) 雑資産				-	
(7) 棚卸資産				-	
(8) 他勘定へ貸				-	
2. 固定資産	0	0	0	-	
(1) 有形固定資産				-	
減価償却累計額(差引)				-	
減損損失累計額(差引)				-	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				-	
①投資預金				-	
②投資金銭信託				-	
③投資有価証券				-	
④外部出資				-	
⑤退職給与金施設預託金				-	
⑥退職給与金施設転貸貸付金				-	
⑦任意全国連合会預け金				-	
負債合計	0	0	0	-	
3. 流動負債	0	0	0	-	
(1) 未払債務				-	
(2) 責任準備金				-	
(3) 拠出金払戻準備金				-	
(4) 支払備金				-	
(5) 任意前受保険料				-	
(6) 雑負債				-	
(7) 借入金				-	
(8) リース債務(短期)				-	
(9) 資産除去債務(短期)				-	
(10) 他勘定から借				-	
4. 固定負債	0	0	0	-	
(1) 長期借入金				-	
(2) リース債務(長期)				-	
(3) 資産除去債務(長期)				-	
(4) 退職給付引当金				-	
(5) 建設引当金				-	
(6) 修繕引当金				-	
(7) 更新引当金				-	
(8) 組合拠出金				-	
(9) 退職給与金施設転貸福祉借入金				-	
5. 純財産	0	0	0	-	
(1) 処分済剰余金	0	0	0	-	
法定積立金				-	
特別積立金				-	
繰越剰余金				-	
(2) 未処分剰余金(未処理不足金)	0	0	0	-	
繰越不足金				-	
当期剰余金				-	
当期不足金				-	
(3) 有価証券評価差額金				-	
(4) 固定資産見合純財産				-	
負債及び純財産合計	0	0	0	-	

(注) 1. 過去3年度の業務報告書より転記して下さい。  
 2. 農作物共済勘定、家畜共済勘定、果樹共済勘定、畑作物共済勘定、園芸施設共済勘定、任意共済勘定、農機具更新共済勘定、家畜診療所勘定及び業務勘定の勘定毎に、連合会の実態に合わせて、勘定科目名を加除の上、作成して下さい。

様式10-1 ◎貸借対照表

連合会名： 全国農業共済組合連合会  
 検査基準日： 年 月 日現在  
 作成部署名：  
 作成責任者名：

勘定名	〇〇勘定				備考
	年度	年度	年度	対前年比	
資産合計	0	0	0	-	
1. 流動資産	0	0	0	-	
(1) 現金預金				-	
(2) 金銭信託				-	
(3) 農林漁業信用基金寄託金				-	
(4) 有価証券				-	
(5) 未収債権				-	
貸倒権引当金(差引)				-	
(6) つなぎ貸付				-	
(7) 雑資産				-	
(8) 棚卸資産				-	
(9) 他勘定へ貸				-	
2. 固定資産	0	0	0	-	
(1) 有形固定資産				-	
減価償却累計額(差引)				-	
減損損失累計額(差引)				-	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				-	
①投資預金				-	
②投資金銭信託				-	
③投資有価証券				-	
④外部出資				-	
⑤退職給与金施設預託金				-	
⑥退職給与金施設転貸貸付金				-	
負債合計	0	0	0	-	
3. 流動負債	0	0	0	-	
(1) 未払債務				-	
(2) 収入保険特約補填資金				-	
(3) 責任準備金				-	
(4) 支払備金				-	
(5) 任意前受保険料等				-	
(6) 雑負債				-	
(7) 借入金				-	
(8) リース債務(短期)				-	
(9) 資産除去債務(短期)				-	
(10) 他勘定から借				-	
4. 固定負債	0	0	0	-	
(1) 長期借入金				-	
(2) リース債務(長期)				-	
(3) 任意預り金				-	
(4) 再保険準備金				-	
(5) 資産除去債務(長期)				-	
(6) 退職給付引当金				-	
(7) 建設引当金				-	
(8) 修繕引当金				-	
(9) 更新引当金				-	
(10) 退職給与金施設転貸福祉貸付借入金				-	
5. 純財産	0	0	0	-	
(1) 処分済剰余金	0	0	0	-	
法定積立金				-	
特別積立金				-	
繰越剰余金				-	
(2) 未処分剰余金(未処理不足金)	0	0	0	-	
繰越不足金				-	
当期剰余金				-	
当期不足金				-	
(3) 有価証券評価差額金				-	
(4) 固定資産見合純財産				-	
負債及び純財産合計	0	0	0	-	

(注) 1. 過去3年度の業務報告書より転記して下さい。  
 2. 農業経営収入保険勘定、農作物共済勘定、家畜共済勘定、果樹共済勘定、畑作物共済勘定、園芸施設共済勘定、任意共済勘定、農機具更新共済勘定、家畜診療所勘定及び業務勘定の勘定毎に、連合会の実態に合わせて勘定科目名を加除の上、作成して下さい。

連合会名 ; 農業共済組合連合会  
 検査基準日 ; 年 月 日現在  
 作成部署名 ;  
 作成責任者名 ;

勘定名	○		○		勘定		備考
	年度	年度	年度	年度	対前年比	対前年差	
1. 事業収益	0	0	0	0	-	-	
(1) 保険料					-	-	
(2) 交付金					-	-	
(3) 再保険金					-	-	
(4) 診療収入					-	-	
(5) 再共済金					-	-	
(6) 再共済手数料収入					-	-	
(7) 再保険手数料収入					-	-	
(8) 受取差益戻金					-	-	
(9) 還付収入金					-	-	
(10) 責任準備金戻入					-	-	
(11) 再保険準備金戻入					-	-	
(12) 支払備金戻入					-	-	
(13) 事業貸倒引当金戻入					-	-	
(14) 法定積立金戻入					-	-	
(15) 特別積立金戻入					-	-	
(16) 事業受取補助金					-	-	
(17) 受取利息					-	-	
(18) 業務勘定受入					-	-	
(19) 家畜共済勘定受入					-	-	
(20) 有価証券処分益					-	-	
(21) 事業財産処分益					-	-	
(22) 事業雑利益					-	-	
2. 業務収入	0	0	0	0	-	-	
(1) 前期繰越業務残金					-	-	
(2) 前期防災事業繰越残金					-	-	
(3) 受取補助金					-	-	
(4) 賦課金					-	-	
(5) 受託収入					-	-	
(6) 損害防止収入					-	-	
(7) 受取寄付金					-	-	
(8) 受取利息					-	-	
(9) 事業勘定受入					-	-	
(10) 抛出金払戻準備金戻入					-	-	
(11) 業務貸倒引当金戻入					-	-	
(12) 業務雑収入					-	-	
(13) 建設引当金戻入					-	-	
(14) 修繕引当金戻入					-	-	
(15) 更新引当金戻入					-	-	
(16) 退職給与金施設預託金付加金収入					-	-	
(17) 退職給与金施設転貸福祉貸付受取利息					-	-	
(18) 有価証券処分益					-	-	
(19) 業務財産処分益					-	-	
(20) 業務雑利益					-	-	
(21) 業務繰延不足繰入					-	-	
利益合計	0	0	0	0	-	-	
3. 事業費用	0	0	0	0	-	-	
(1) 再保険料					-	-	
(2) 再共済掛金					-	-	
(3) 組合等交付金					-	-	
(4) 保険金					-	-	
(5) 診療人件費					-	-	
(6) 往診旅費					-	-	
(7) 一般旅費					-	-	
(8) 嘱託獣医費					-	-	
(9) 診療所維持費					-	-	
(10) 往診費					-	-	
(11) 貸借料					-	-	
(12) 嘱託診療費					-	-	
(13) 医療品消耗費					-	-	
(14) 委託費					-	-	
(15) 車両リサイクル費					-	-	
(16) 雑費					-	-	
(17) 減価償却費					-	-	
(18) 診療所リース資産除去損					-	-	
(19) 診療所リース債務解約損					-	-	
(20) 還付支払金					-	-	
(21) 無事戻金					-	-	
(22) 連合会特別交付金					-	-	
(23) 責任準備金繰入					-	-	
(24) 支払備金繰入					-	-	
(25) 事業貸倒引当金繰入					-	-	
(26) 支払利息					-	-	
(27) 業務勘定繰入					-	-	
(28) 家畜診療所勘定繰入					-	-	
(29) 有価証券処分損					-	-	
(30) 有価証券評価損					-	-	
(31) 事業財産処分損					-	-	
(32) 事業貸倒損失					-	-	
(33) 事業減損損失					-	-	
(34) 事業雑損失					-	-	
4. 業務支出	0	0	0	0	-	-	
(1) 前期繰越業務不足金					-	-	
(2) 人件費					-	-	
(3) 旅費交通費					-	-	
(4) 事務費					-	-	
(5) 業務費					-	-	
(6) 普及推進費					-	-	
(7) 施設費					-	-	
(8) 損害評価費					-	-	
(9) 損害防止費					-	-	
(10) 損害防止事業負担金					-	-	
(11) 諸税負担金					-	-	
(12) 事業勘定繰入					-	-	
(13) 抛出金払戻準備金繰入					-	-	
(14) 業務貸倒引当金繰入					-	-	
(15) 業務雑費					-	-	
(16) 建設引当金繰入					-	-	
(17) 修繕引当金繰入					-	-	
(18) 更新引当金繰入					-	-	
(19) 固定資産自己財源取得費					-	-	
(20) リース資産除去損					-	-	
(21) リース資産解約損					-	-	
(22) 防災事業繰延残金繰入					-	-	
(23) 退職給与金施設転貸福祉支払利息					-	-	
(24) 有価証券処分損					-	-	

(25) 有価証券評価損				-	-		
(26) 業務財産処分損				-	-		
(27) 業務貸倒損失				-	-		
(28) 業務雑損失				-	-		
(28) 業務繰延残金繰入				-	-		
損失合計	0	0	0	-	-		
当期剰余金(当期不足金)	0	0	0	-	-		

(注) 1. 過去3年度の業務報告書より転記して下さい。

2. 農作物共済勘定、家畜共済勘定、果樹共済勘定、畑作物共済勘定、園芸施設共済勘定、任意共済勘定、農機具更新共済勘定、家畜診療所勘定及び業務勘定の勘定毎に、連合会の実態に合わせ、勘定科目名を加除の上、作成して下さい。

連合会名 ; 全国農業共済組合連合会  
 検査基準日 ; 年 月 日現在  
 作成部署名 :  
 作成責任者名 :

勘定名	○			勘定		備考
	年度	年度	年度	対前年比	対前年差	
1. 事業収益	0	0	0	-	-	
(1) 保険料又は共済掛金				-	-	
(2) 交付金(保険料国庫負担収入)				-	-	
(3) 再保険金又は保険金				-	-	
(4) 診療収入				-	-	
(5) 再保険手数料収入				-	-	
(6) 受取差益戻金				-	-	
(7) 還付収入金				-	-	
(8) 責任準備金戻入				-	-	
(9) 支払備金戻入				-	-	
(10) 事業貸倒引当金戻入				-	-	
(11) 再保険準備金戻入				-	-	
(12) 法定積立金戻入				-	-	
(13) 特別積立金戻入				-	-	
(14) 事業受取補助金				-	-	
(15) 受取利息				-	-	
(16) 業務勘定受入				-	-	
(17) 有価証券処分益				-	-	
(18) 事業財産処分益				-	-	
(19) 事業雑利益				-	-	
2. 業務収入	0	0	0	-	-	
(1) 前期繰越業務残金				-	-	
(2) 前期防災事業繰越残金				-	-	
(3) 受取補助金				-	-	
(4) 賦課金				-	-	
(5) 加入者事務費負担収入				-	-	
(6) 賦課金				-	-	
(7) 会費収入				-	-	
(8) 受託収入				-	-	
(9) 損害防止収入				-	-	
(10) 受取寄付金				-	-	
(11) 受取利息				-	-	
(12) 事業勘定受入				-	-	
(13) 業務貸倒引当金戻入				-	-	
(14) 業務雑収入				-	-	
(15) 建設引当金戻入				-	-	
(16) 修繕引当金戻入				-	-	
(17) 更新引当金戻入				-	-	
(18) 退職給与金施設預託金付加金収入				-	-	
(19) 退職給与金施設転貸福祉貸付受取利息				-	-	
(20) 有価証券処分益				-	-	
(21) 業務財産処分益				-	-	
(22) 業務雑利益				-	-	
(23) 業務繰延不足金繰入				-	-	
利益合計	0	0	0	-	-	
3. 事業費用	0	0	0	-	-	
(1) 再保険料又は保険料				-	-	
(2) 保険金又は共済金				-	-	
(3) 診療人件費				-	-	
(4) 往診旅費				-	-	
(5) 一般旅費				-	-	
(6) 嘱託獣医費				-	-	
(7) 診療所維持費				-	-	
(8) 往診費				-	-	
(9) 貸借料				-	-	
(10) 嘱託診療費				-	-	
(11) 医療品消費費				-	-	
(12) 委託費				-	-	
(13) 車両リサイクル費				-	-	
(14) 雑費				-	-	
(15) 減価償却費				-	-	
(16) 診療所リース資産除去損				-	-	
(17) 診療所リース債務解約損				-	-	
(18) 還付支払金				-	-	
(19) 再保険手数料				-	-	
(20) 差益戻金				-	-	
(21) 責任準備金繰入				-	-	
(22) 支払備金繰入				-	-	
(23) 収入保険特約補填資金繰入				-	-	
(24) 事業貸倒引当金繰入				-	-	
(25) 再保険準備繰入				-	-	
(26) 支払利息				-	-	
(27) 業務勘定繰入				-	-	
(28) 有価証券処分損				-	-	
(29) 有価証券評価損				-	-	
(30) 事業財産処分損				-	-	
(31) 事業貸倒損失				-	-	
(32) 事業減損損失				-	-	
(33) 事業雑損失				-	-	
4. 業務支出	0	0	0	-	-	
(1) 前期繰越業務不足金				-	-	
(2) 人件費				-	-	
(3) 旅費交通費				-	-	
(4) 事務費				-	-	
(5) 業務費				-	-	
(6) 普及推進費				-	-	
(7) 施設費				-	-	
(8) 損害評価費				-	-	
(9) 損害防止費				-	-	
(10) 損害防止事業負担金				-	-	
(11) 諸税負担金				-	-	
(12) 事業勘定繰入				-	-	
(13) 業務貸倒引当金繰入				-	-	
(14) 業務雑費				-	-	
(15) 建設引当金繰入				-	-	
(16) 修繕引当金繰入				-	-	
(17) 更新引当金繰入				-	-	
(18) 固定資産自己財源取得費				-	-	
(19) リース資産除去損				-	-	
(20) リース資産解約損				-	-	
(21) 防災事業繰延残金繰入				-	-	
(22) 退職給与金施設転貸福祉支払利息				-	-	
(23) 有価証券処分損				-	-	
(24) 有価証券評価損				-	-	
(25) 業務財産処分損				-	-	
(26) 業務貸倒損失				-	-	

(27) 業務雑損失				-	-		
(28) 収入保険繰越事務費				-	-		
(29) 業務繰越残金繰入				-	-		
損失合計	0	0	0	-	-		
当期剰余金(当期不足金)	0	0	0	-	-		

(注) 1. 過去3年度の業務報告書より転記して下さい。

2. 農業経営収入保険勘定、農作物共済勘定、家畜共済勘定、果樹共済勘定、畑作物共済勘定、園芸施設共済勘定、任意共済勘定、農機具更新共済勘定、家畜診療所勘定及び業務勘定の勘定毎に、連合会の実態に合わせて勘定科目名を加除の上、作成して下さい。

連合会名 ; 農業共済組合連合会  
 検査基準日 ; 年 月 日現在  
 作成部署名 :  
 作成責任者名 :

勘定名	業務勘定			対前年比	対前年差	備考
	年度	年度	年度			
1. 人件費	0	0	0	-	-	
(1) 役員報酬				-	-	
(2) 職員給料手当				-	-	
(3) 法定福利費				-	-	
(4) 厚生福利費				-	-	
(5) 退職給付引当金繰入				-	-	
(6) 退職給与金				-	-	
(7) 退職給付引当金戻入 (▲)				-	-	
(8) 賃金				-	-	
(9) ○○○				-	-	
(10) ○○○				-	-	
勘定名	家畜診療所勘定 (家畜診療事業)					
年度	年度	年度	年度	対前年比	対前年差	備考
2. 診療人件費	0	0	0	-	-	
(1) 職員給料手当				-	-	
(2) 法定福利費				-	-	
(3) 厚生福利費				-	-	
(4) 退職給付引当金繰入				-	-	
合計	0	0	0	-	-	

(注) 1. 過去3年度の業務報告書より転記して下さい。  
 2. 連合会の実態に合わせ、勘定科目名を追加の上、作成して下さい。

様式11

\_\_\_\_\_  
联合会名; 農業共済組合連合会  
\_\_\_\_\_  
検査基準日; 年 月 日現在  
\_\_\_\_\_  
作成部署名:  
\_\_\_\_\_  
作成責任者名:

○前回検査の指摘事項に対する改善状況等調書

検査書( 年 月 日)	回答( 年 月 日)	改善状況等( 年 月 日)	備考
法令等遵守態勢の整備・確立について	法令等遵守態勢の整備・確立について	法令等遵守態勢の整備・確立について	
事業運営管理態勢の整備・確立について	事業運営管理態勢の整備・確立について	事業運営管理態勢の整備・確立について	

(注)

- 1 本調書の表頭の年月日については、検査書欄は検査書の施行日を、回答欄は回答の提出日を、改善状況等欄は検査基準日を記入して下さい。
- 2 この調書は、他の調書と併せて提出して下さい。
- 3 この調書の様式は、A4、横方向、72文字、43行数、フォント(MS明朝、和文フォント、10.5ポイント)、マージン(上25ミリ、下15ミリ、左15ミリ、右15ミリ)、ページ(中央下、マージン10ミリ、飾り-1-)として下さい。
- 4 備考欄は、全角6文字が入力できる状態で提出して下さい。